

神戸外国人墓地セミナー

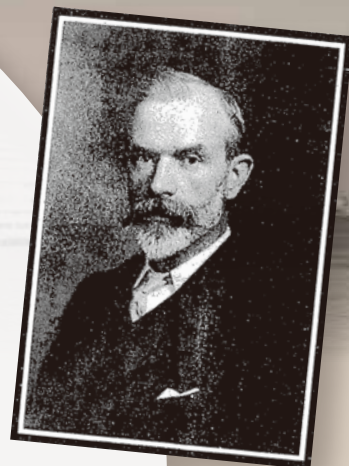
神戸発行の英字新聞

ジャパン クロニクル

物語

～二人の編集者の軌跡～

2025 7.5. sat 14:00-15:30



かつて神戸で発行され、日本を代表する英字新聞として高い評価を受けた『ジャパン・クロニクル』。明治期に創刊された同紙は、正確で格調高い報道を通じて、国内外に多くの影響を与えてきました。本セミナーでは、初代編集者ロバート・ヤングと、後を継いだアーサー・モルガン・ヤングという二人の編集者の軌跡をたどりながら、『ジャパン・クロニクル』が果たした歴史的役割と、その報道が神戸、ひいては日本の国際発信にどのように寄与したのかを考えます。また時代に翻弄されたヤング家の人々も紹介します。

場所

神戸市立外国人墓地 礼拝堂

定員

40名(先着順)

申込

神戸市立外国人墓地事務所

(☎078-341-5200)に電話

※一組4名様までとさせていただきます。

講師：洲脇一郎 (SUWAKI Ichiro)

京都大学経済学部卒業。民間企業を経て神戸市役所に入る。新修神戸市史編集室、神戸市立博物館などに勤務。元神戸親和大学教授。現在同大学非常勤講師。専攻は日本近現代史。

著書に神戸市教育委員会編『東遊園地と居留外国人』（共著）、中華会館編『落地生根 神戸華僑と神阪中華会館の百年』（研文出版、共著）、『空襲・疎開・動員 戦時・戦後の神戸の社会と教育』（みるめ書房）など、論文は「外国人と土地所有権」（『神戸市立博物館研究紀要』14号）、「コーベ・クロニクルにみる条約改正期の神戸外国人居留地」（『神戸まちづくりセンターレポート SORA』Vol.6）など多数。

